

# 木の特徴を読み取る (樹木医入門)

樹木医は木のどの部分が調子が悪いのかを知らなければ治療にあたれません。樹木はその外観からたくさんの情報を私たちに発していますので、それを読みとることができればいいのです。こういった樹木のメッセージを、樹木のボディランゲージ、と呼んでいます。

## ねらい

樹木のボディランゲージが読みとれるようになる。

## 達成目標

- ・木の形の気になるところ、面白いと思うところを見つけられるようになる。
- ・どうしてそのような形になるのかについて、想像し、ことを知るようになる。
- ・樹木の形などから木の様子を読みとることができることを知る。



## 導入

「ボディランゲージ、という言葉を知っていますか？」  
私たちは言葉で会話しなくても、顔の様子や体の動かし方などで自然と相手の気持ちや様子を読みとっていることを伝え、樹木でも同じように、木の形などから様々な情報を読みとることができることを伝える。

## ふりかえり・わかちあい

以上の活動を通して、樹木の形からどのようなことが読みとれそうか、考え、紹介しあう。どのような観察をしたら答えが分かるか話し合ってみる。

## 本体

1本の木を選んで、ていねいにスケッチしてみよう。描きながら、不思議だな、どうしてだろう、と思った部分から線を引き出して、思ったことを書いておこう(例参照)。どうしてそうなっているのか、そのことから何が言えそうか、想像して話し合ってみよう。

## まとめ

樹木医は、このような樹木のようなすから状態を知る、ということをして、樹木の治療をしていること、つまり、樹木のボディランゲージを読みとっていることを伝え、私たちも注意深く観察すれば、樹木のボディランゲージを読みとれるようになることを伝える。

## 実施のポイント

場所としては、樹木の形が多様である所を選ぶとよい。できれば、樹木医を講師として呼び、子ども達の考えに対してコメントをしてもらえるようにするとよい(答えを知ることができる)。

◆所要時間	60分
◆人数	何人でも(木の数による)
◆関連教科等	総合的な学習の時間、理科
◆焦点を当てる能力	観察する、描く、発見する、原因を考える、意見を言う、話し合う
◆準備するもの	ワークシート、クリップボード、筆記用具
◆安全のポイント	活動の範囲を明確に指示する 危険な場所があれば指摘しておく

## 評価の視点

樹木の形の特徴(気になるところ)を指摘できたり、どうしてそうなったのか想像することができるようになることを大切にしたい。

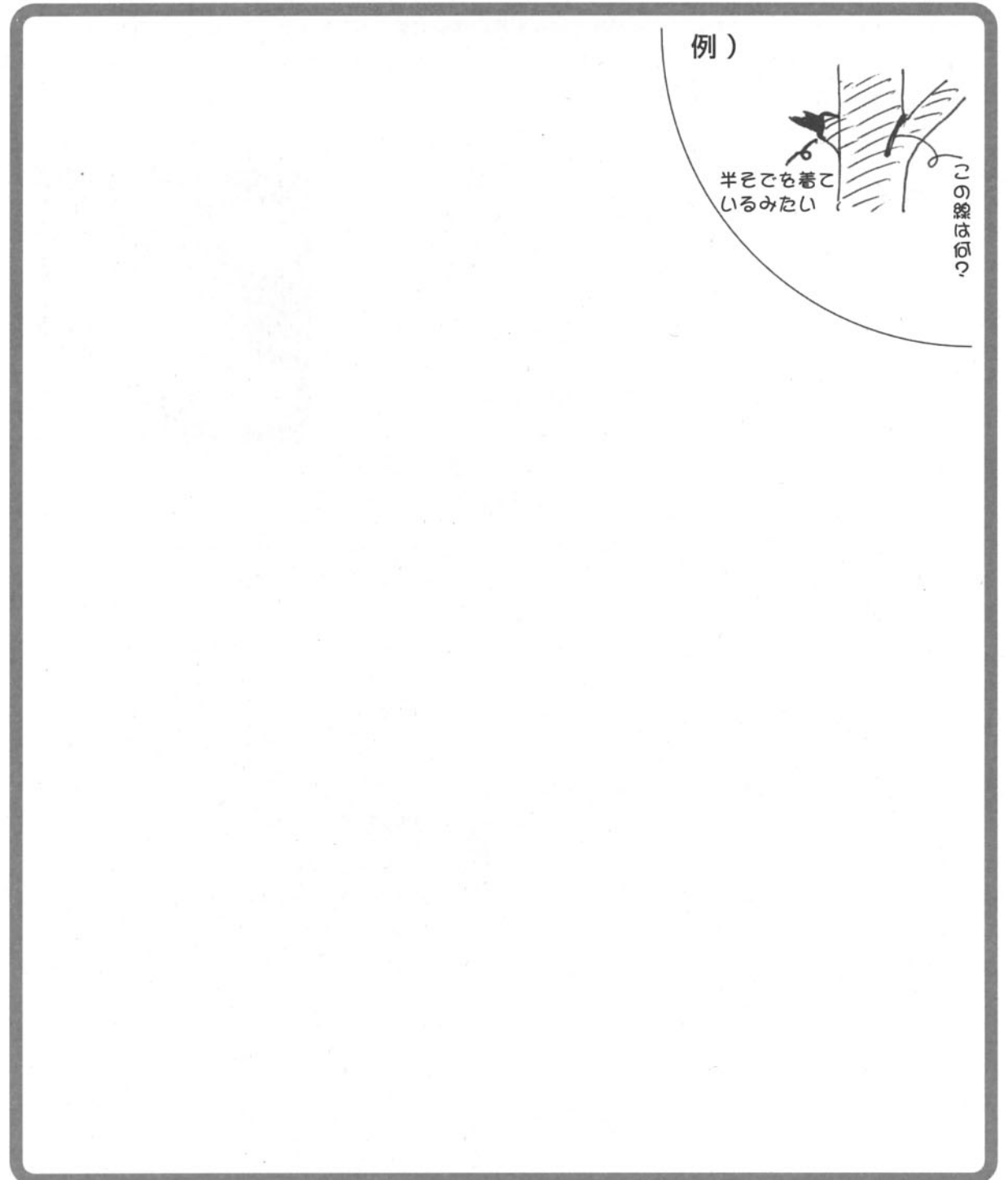
## 発展・応用

樹木だけでなく、動物や昆虫などもメッセージを発している、と考えて同じようにボディランゲージを考えてみよう。

## 参考文献

「図解 樹木の診断と手当て」堀 大才 著  
オリジナル/自然教育研究センター

# 木の特徴を読み取る (樹木医入門) 32



- ◆ 1本の木を<sup>かんさつ</sup>観察して<sup>か</sup>絵を描いてみましょう。(影は描かない)
- ◆ 描きながら、不思議<sup>ふしぎ</sup>だな、なぜだろう、と思ったところを見つけましょう。そこから線<sup>せつめい</sup>で引き出し、説明を書きましょう。
- ◆ どうしてそうなっているのか、理由を考えてみましょう。

年 月 日 名前